

福岡学園広報誌

# NewSophia

ニューソフィア

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています。

91号

[VOL.24-3]

July 2016

## 国際交流レポート

### 熊本地震被災地への 歯科医療救護活動に参加

医科歯科総合病院

西鉄バス乗り入れ運行開始



# 泉湧くところ

福岡学園常務理事 北村 憲司

地下で繋がる水脈は生命の迷宮  
天の水は地上に降り立ち

迷宮の中で濃密な時間を過ぐす

悠久の時を経て突如として地上に現れ

天と地が合うところ、命が生まれ、都市が生まれる

地の怒りは時間を引裂き、未来を絶つも

天の慈愛は新たな未来を約束し

再生の時を刻み出す

迷宮は新たな永遠を手に入れ

私の心に再び命が芽生える

水は私たちが生きていくためにかけがえない物質で、生命の源です。水の都と称される熊本は水源を地下水でまかなえるほど地下水脈が豊富な都市で、今回の地震で地下水脈にも大きな影響が出ており、熊本の人々の誇りまでもが奪われるかのようです。しかし、被害の大きい南阿蘇村にある白川水源はそのような困難の中にあつて、何事もなかったように、以前と変わりなく清水を湧出し続けています。絶えることなく湧出し続けているその力強いエネルギーと永遠性に心を奪われ、いつの間にか無心にいる自分を発見します。私たちは躍動する水に生命を感じ、どれほど明日を待ち望む大きな活力を受けていることでしょうか。自然を見つめ日常を過ぐす、そこに人間としての力強さと永遠を感じます。

## 《Featuring News》—注目のニュース—

- 3 国際交流レポート
- 4 第23回日本歯科医学会総会開催案内

## 《Seasonal News》—季節のニュース—

- 5・6 平成27年度事業報告および決算

## 《Campus News》—学園の話題—

- 7 ◆熊本地震被災地への歯科医療救護活動に参加
- 8 ◆平成28年度日本学術振興会特別研究員に  
本学大学院生 橋本麻利江氏が採用  
◆医科歯科総合病院「リハビリテーション科」を標榜  
◆医科歯科総合病院 西鉄バス乗り入れ運行開始
- 9 ◆平成28年度福岡歯科大学公開講座  
◆平成28年度父兄後援会支部懇談会開催日程  
◆平成28年度福岡医療短期大学公開講座  
◆第12回健康まるごと福岡学園

## 《People》—学園の「ひと」—

- 10 ◆水田祥代理事長が世界小児外科学会連合  
「The Lifetime Achievement Awards」を受賞、  
欧州小児外科学会名誉会員の称号を受ける  
◆教員紹介

## 《From Alumni》—同窓会だより—

- 11 ◆学術報告会(葛西秀夫・6期生)  
◆同窓生からの手紙(中田 宏・13期生)
- 12 ◆クリニックからこんにちは!(中谷 一空・31期生)  
◆卒業生NOW(野々山 信・25期生)

## 《Students &amp; Parents》—学生・保護者からのメッセージ—

- 13 ◆松野 浩明(福岡歯科大学 第2学年)  
◆村上 司(父兄後援会理事)  
◆連載コラム「無用の用」

## 《Events》—学園行事レポート—

- 14 ◆福岡市民の健康を歯と口から守る集い  
◆編集後記

## 《Information》

- 裏表紙 ◆平成29年度入試日程  
◆オープンキャンパス

.....  
《表紙写真》晴天の下、盛り上がった学園体育祭

平成28年4月14日、16日に熊本地方で大きな地震が発生しました。鉄道、道路はもとより、熊本城、水前寺公園、阿蘇大橋、阿蘇神社等の施設、家屋で甚大な被害が生じ、この原稿を書いている地震発生から1ヶ月を過ぎた5月中旬でも余震が続いておりま  
す。今回の地震で大きな被害に遭われた卒業生の皆様、在校生、家族の皆様、また地域の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様が1日も早く日常の生活に戻ることができるようになることを願っています。福岡歯科大学も入学希望者が激減する厳しい時を経て、新しい時代を迎えようとしています。地域に貢献する歯科医師、歯科衛生士、介護福祉士を育成する泉をこれからも涸らすことのないよう、日常を大切に成長し続けたいと思います。



# 第23回日本歯科医学会総会

The 23rd General Meeting of the Japanese Association for Dental Science

# 歯科医療 未来と夢

New Paradigm for Dental Medicine Its Futures and Our Dreams



平成28年(2016年)

10/21(金)・22(土)・23(日)

福岡国際会議場、福岡サンパレス

会 頭：水田 祥代 (学校法人福岡学園・福岡歯科大学 理事長)  
主幹校：福岡歯科大学 幹事校：九州歯科大学、九州大学大学院歯学研究院  
長崎大学歯学部、鹿児島大学歯学部



### 開会講演 1

10/21(金) 11:30~12:30

iPS細胞研究の現状と  
医療応用に向けた取り組み

山中 伸弥

(京都大学iPS細胞研究所 所長・教授)



### 開会講演 2

10/21(金) 12:45~13:45

宇宙飛行から学んだこと  
— 有人宇宙探査と  
歯科医学への期待—

向井 千秋

(東京理科大学 特任副学長)



### 会頭講演

10/21(金) 17:10~17:40

輝いて美しく  
— 女性医療人へのエール—

水田 祥代

(第23回日本歯科医学会総会 会頭)

公開フォーラム 10/23(日) 14:00~17:00 参加費：無料

## 口から食べて豊かな人生

基調講演 演者 飯島 勝矢 (東京大学高齢社会総合研究機構 教授)

### ■パネルディスカッション

モデレーター：林田 スマ (公益財団法人 大野城まどかびあ 館長、元 RKB 毎日放送株式会社 アナウンサー)

内藤 徹 (福岡歯科大学 教授)

パネリスト：川原 正孝 (株式会社ふくや 代表取締役社長)

大部 正代 (中村学園大学栄養科学部 教授、福岡県栄養士会 会長)

霜出 陽子 (社会福祉法人学而会 サンシャインプラザ 生活相談員)

山田 好秋 (東京歯科大学 客員教授、元新潟大学 副学長)

市民イベント 10/23(日) 13:00~17:00 参加費：無料

## お口と身体の健康フェスティバル

— 豊かな人生を歩むために—

■会場 福岡国際会議場 3階 メインホールロビー

参加者：公開フォーラムの参加者 (一般市民)

併催行事

### 第69回九州歯科医学大会

併催行事

### 日本デンタルショー2016福岡

会場：マリンメッセ福岡

### 託児室のご案内

育児中の皆様にも安心して総会にご参加いただけるよう、本総会では、無料託児室をご用意しております。お子様連れで参加される方は、ぜひご利用ください。なお、託児室の利用は完全予約制とさせていただきます。人数制限がございますので、お申し込みはお早目をお願いいたします。

#### ■託児時間

10月21日(金) 10:00~19:00

10月22日(土) 8:00~17:00

10月23日(日) 8:00~17:00

#### ■対象

総会参加者のお子様で0歳(3カ月)~就学前まで

#### ■料金

無料

○費用は総会にて負担させていただきますが、キャンセルの場合はキャンセル料をご利用者様本人にご負担いただけます。

○飲食やおむつ等については、ご利用者様にてご用意ください。

#### ■申込最終締切

10月6日(木)まで

#### ■申込方法

総会HPの「託児室のご案内」よりお申込みいただけます。

〈委託先〉

株式会社アルファコーポレーション

### 事前参加 申込期間

後期事前登録期間

6/1(水)~9/2(金)



23歯科総会 福岡 検索

# 平成27年度事業報告および決算

学校法人福岡学園の事業報告および決算が、5月25日開催の評議員会、理事会で承認されました。概要は次のとおりです。

## 平成27年度(第44期)事業報告

### 1. 「口腔医学の学問体系の確立・育成」について

口腔医学教育・口腔医療の確立育成のフロントランナーとして、10年余その実践に努めてきました。今年度は、その「口腔医学」を推進するために、平成28年10月に本学が主幹校として開催予定の第23回日本歯科医学会総会において、「未来の歯科のあるべき姿―口腔医学の学問体系の確立―」を演題とした国際セッションシンポジウムや「口から食べて豊かな人生」を演題とした公開フォーラムを企画するなど準備を進めたほか、口腔医学の創設・育成を推進するために故田中健蔵理事長のご遺族から受け入れた寄付金を原資として「田中健蔵基金」を設立しました。

また、文部科学省選定の戦略的連携事業「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」(助成期間は平成20年~22年度)について、福岡地区において口腔医学シンポジウム「からだを守る口腔ケア」を開催し、歯科医師と医師のそれぞれの立場から口腔ケアの重要性を広く社会にアピールしました。

### 2. 教育の改善・充実等について

- (1)平成25年度からの継続事業である「私立大学等改革総合支援事業」(文部科学省および日本私立学校振興・共済事業団が共同実施)において、今年度も引き続き、福岡歯科大学および福岡医療短期大学ともに、タイプ1「大学教育の質転換」に採択され、「大学力」の向上のため組織的・体系的に大学改革に取り組む大学として支援を受けました。
- (2)平成26年度から5年計画で採択された「大学教育再生加速プログラム(AP)」(文部科学省実施)において、今年度は、福岡歯科大学ではディプロマ・ポリシー達成のために学生に獲得させることが必要な具体的な能力を示す「コンピテンシ・コンピテンシー」を策定し、福岡医療短期大学では汎用的能力の育成のためルーブリック評価を取り入れた計6種類の教育改善モデルの実践などに取り組みました。
- (3)大学においては、総合学習力を引き上げるため、第1~3学年において総合試験のトライアルを実施しました。第4学年では、共用試験の合格率向上に向け、基礎臨床統合演習用e-learningコンテンツを全分野で作成、後期演習で使用したほか、補強講義を新たに実施しました。第6学年では、過去の国家試験問題の解説を全分野で展開したほか、必須問題の強化及び不得意科目の補強授業などを実施し、第5学年では第6学年で使用した国家試験の重要問題を使って学年を跨いだシームレスな教育を行いました。
- (4)大学院においては、客観的評価確立のため学位審査基準に基づく審査評価票を用いた審査を行うなど教育の可視化、実質化を図りました。
- (5)短大においては、歯科衛生学科では、本学園の医科歯科総合病院及び口腔医療センターにおいても実践的な臨床地実習の充実にも努めたほか、口腔介護教育を充実するための講義、実習も実施しました。保健福祉学科では、介護福祉士養成校の中で福岡県初の「医療的ケア教育の実施機関」として登録を受け、16名に修了証を交付しました。専攻科では、27年度より特例適用専攻科として、論文審査を学内で実施し、対象者18名に学位が授与されました。
- (6)「第109回歯科医師国家試験」は既卒者を含めた総合合格率が46.1%で私立歯科大学中13位でした。今後は国家試験結果の分析に基づき、国試合格率の向上に努めます。また、短大の「第25回歯科衛生士国家試験」は受験者86名のうち84名が合格し、合格率が97.7%でした。

### 3. 研究の活性化について

- (1)研究業績として、専任教員の総論文数(著書、総説、原著論文、症例報告等)は、福岡歯科大学は前年度151編が191編(うち欧文68編)に、福岡医療短期大学は前年度13編が21編(うち欧文1編)になりました。
- (2)先端科学研究センターでは、5年計画の研究「疾患の発症と進展を抑制する分子基盤」の2年目にあたり、基盤を確立する研究を活発に行いました。また1年目の成果について研究発表会を開催し、国内外の4名の評価委員から高い評価を受けました。
- (3)再生医学研究センターは、山崎純教授を新たなセンター長に選任するとともに、センター研究室を移設し、組織化幹細胞を用いて細胞再生療法の改善を図りながら、高齢者に適した個別化口腔・顎顔面機能再生を実現するための基盤研究をスタートさせました。
- (4)老化制御研究センターの研究「老化の抑制と疾患の制御における環境ス

トレスとゲノムの応答」は、超低温フリーザー、ソフトインキュベーター、ゲル撮影装置を新たに導入するなど研究を活性化するためにセンター機器を整備しました。

### 4. 学生の支援等について

- (1)大学では、第1学年の成績不振者を対象に、理数系基礎科目について外部講師による修学支援を実施したほか、手書きの図書台帳に記載の図書目録を電子データ化し、利用者サービスの向上を図りました。
- (2)短大では、成績不振者に対する補習授業を、土曜日を含めた課外時間に実施したほか、学年担当と助言教員による保護者面談や学生指導を実施し、学生の修学支援の充実を図りました。
- (3)学生募集について、平成28年度入学者数は、学部97名(志願者数前年比5%増、競争倍率1.9倍から2.1倍に上昇)、短大歯科衛生学科71名、保健福祉学科15名となりました。

### 5. 社会との連携・貢献について

- (1)地域連携センターでは、公開講座、出前講座、生涯研修、セミナー等を開催し、地域社会の健康維持増進、人材の育成、最新医療情報の発信等に努めたほか、今年度は福岡市から介護予防教室の運営事業者に選定され介護予防プログラムを実施しました。また、地域の歯科医師会と連携して健康相談、無医地区での講演会、超高齢地区での健康診断の実施並びに総合病院と連携して入院患者への口腔ケアの実施など、健康長寿社会の構築および地域社会の活性化に努めました。
- (2)医科歯科総合病院では、医療安全担当の専任教員を配置し、医療安全、危機管理体制の整備を行いました。また、サービス向上の対策として新たに皮膚科を開設したほか、西日本鉄道(株)と交渉し、平成28年6月から病院構内のバス乗り入れを決定しました。また、病院外来棟1階トイレ及び洗口コーナー等の改修を行いました。なお、外来患者数は1日平均662.2人(前年比4.07%増)、入院患者数は27.4人(前年比8.12%減)となりました。病院改築計画については、理事長が若手教員と意見交換会を実施するなどして基本コンセプト及び階別施設整備計画等を検討しました。
- (3)口腔医療センターは、地域医療への貢献のため歯科医師、歯科衛生士の充実を図りました。年間患者総数は28,345人、1日平均患者数は106.2人でした。
- (4)介護老人保健施設は、利用者拡大のため特別養護老人ホーム等へも紹介依頼を行い、短期入所の延べ利用者数は368人(前年比297%増)となりましたが、入所者数は1日平均71.9人(前年比6.4%減)となり、施設活性化のための検討委員会を立ち上げました。通所利用者数は1日平均26.8人(前年比21.5%増)で過去最高となりました。
- (5)国際交流では、大学はマンダレー歯科大学(ミャンマー)と学術交流を目指してLOAを締結したほか、ブリティッシュコロンビア大学歯学部、上海交通大学口腔医学院、慶熙大歯科大学、中国医科大学口腔医学院と学生交流・学術交流を引き続き実施しました。また、欧米との学術交流を目指してリバプール大学と交渉しています。

### 6. 組織運営について

- (1)経営強化策として①経営企画委員会設置、②規定を整備し内部監査の実施、③学生生活満足度調査の実施、④地域経済への波及効果の分析、公開等を実施し、私立大学等経営強化集中支援事業に採択されました。
- (2)外部資金導入として、文部科学省から私立学校施設整備費補助金、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に係る研究費補助金および大学改革推進等補助金などで約1億5千万円を受け入れました。この他、寄付金について、故田中前理事長のご遺族からの寄付金や個人寄付件数の増加により約3,300万円を受け入れました。
- (3)学内LANの基幹スイッチ等の更新・設定を実行し、日々巧妙化する脅威に対応したネットワーク設計の見直しを行い、設定変更を行いました。
- (4)看護大学設置準備室を設置し、福岡看護大学(仮称)の設置認可申請を10月に文部科学省に行いました。

超高齢社会へと変化した社会情勢の中、本学には地域社会、国際社会の期待に応えるための改革が求められています。本学では、医療、保健、福祉の総合学園としての特色をさらに充実、発展させ、社会の期待に応えられる人材育成を目指して、引き続き努めてまいります。

## 平成27年度(第44期)決算

平成27年度の資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

### ○資金収支計算書

■資金収支決算総括表(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) (単位:円)

収入の部	科目	予算		決算		差異	
		金額	構成比	金額	構成比		
収入の部	学生生徒等納付金収入	3,005,485,000	14.68	3,005,255,000	13.55	230,000	
	手数料収入	20,371,000	0.10	22,208,010	0.10	△1,837,010	
	寄付金収入	83,114,000	0.41	100,006,933	0.45	△16,892,933	
	補助金収入	533,922,000	2.61	594,643,908	2.68	△60,721,908	
	国庫補助金収入	533,922,000	—	594,643,908	—	△60,721,908	
	地方公共団体補助金収入	0	—	117,908	—	△117,908	
	資産売却差額	300,000,000	1.47	400,068,000	1.80	△100,068,000	
	付随事業収益事業収入	466,750,000	2.28	454,766,401	2.05	△11,983,599	
	医療収入	1,715,000,000	8.38	1,800,959,586	8.12	△85,959,586	
	受取利息・配当金収入	754,560,000	3.68	772,974,043	3.46	△18,414,043	
	雑収入	183,192,000	0.89	171,326,713	0.77	11,865,287	
	借入金等収入	0	0.00	0	0.00	0	
	前受金収入	377,100,000	1.84	432,117,700	1.95	△55,017,700	
	その他の収入	13,743,000,000	67.36	15,272,647,321	68.85	△1,479,157,321	
	資金収支調整差額	△755,924,000	△3.70	△843,768,967	△3.80	87,844,967	
	(小計)	(20,477,060,000)	(100.00)	(22,183,204,948)	(100.00)	(△1,706,144,948)	
	前年度繰越支払資金	927,467,000	—	927,467,392	—	—	
	収入の部合計	21,404,527,000	—	23,110,672,340	—	△1,706,145,340	
	支出の部	人件費支出	3,826,858,000	18.42	3,704,807,634	17.16	122,050,366
		教育研究経費支出	1,619,869,000	7.80	1,532,845,053	7.10	87,023,947
経常経費支出		408,187,000	1.97	291,136,750	1.35	118,050,248	
借入金等返済支出		0	0.00	0	0.00	0	
借入金等返済支出		0	0.00	0	0.00	0	
施設関係支出		1,032,633,000	4.97	851,009,000	3.94	181,624,000	
設備関係支出		172,140,000	0.83	183,829,072	0.85	△11,689,072	
資産運用支出		13,396,981,000	64.49	14,893,892,800	69.00	△1,496,911,800	
その他の支出		490,726,000	2.36	502,688,796	2.33	△11,962,796	
[予備費]		(171,320,000)	0.62	—	—	128,680,000	
資金支出調整差額		△302,100,000	△1.46	△375,453,295	△1.73	73,353,295	
(小計)		(20,774,953,000)	(100.00)	(21,584,755,812)	(100.00)	(△809,802,812)	
翌年度繰越支払資金		629,574,000	—	1,525,916,528	—	△896,342,528	
支出の部合計		21,404,527,000	—	23,110,672,340	—	△1,706,145,340	

### ■前年度決算との差異の主な要因

収入の部	
医療収入(7,300万円増)	病院医療収入の増により7,300万円の増加となりました。
受取利息・配当金収入(5,400万円減)	金利低下により保有債券の運用利息が5,400万円の減少となりました。
支出の部	
人件費支出(1億3,000万円減)	教員人件費5,700万円増、職員人件費5,300万円増、退職金2億3,000万円の減により1億3,000万円の減少となりました。
管理経費支出(1億1,900万円減)	福岡看護大学(仮称)申請業務委託費1,600万円増、前年度の学への寄付金1億5,000万円の減などにより1億1,900万円の減少となりました。
施設関係支出(7億8,000万円増)	福岡看護大学(仮称)校舎新築工事費(前払金)6億6,400万円、高圧受変電設備更新工事費(前払金)4,600万円、病院空調設備更新工事費7,100万円などにより7億8,000万円の増加となりました。
設備関係支出(5億5,100万円減)	前年度の病院医療情報システム整備費5億4,000万円の減などにより5億5,100万円の減少となりました。

### ○事業活動収支計算書

■事業活動収支決算総括表(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) (単位:円)

収入の部	科目	予算		決算		差異
		金額	構成比	金額	構成比	
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,005,485,000	44.38	3,005,255,000	43.27	230,000
	手数料	20,371,000	0.30	22,208,010	0.32	△1,837,010
	寄付金	83,114,000	1.23	105,149,709	1.51	△22,035,709
	経常費等補助金	533,922,000	7.88	558,949,908	8.05	△25,027,908
	国庫補助金	533,922,000	—	558,949,908	—	△25,027,908
	地方公共団体補助金	0	—	117,908	—	△117,908
	付随事業収入	466,750,000	6.89	454,766,401	6.55	△11,983,599
	医療収入	1,715,000,000	25.32	1,800,959,586	25.93	△85,959,586
	雑収入	183,192,000	2.71	174,078,965	2.51	9,113,035
	教育活動収入計	6,007,834,000	88.71	6,121,767,879	88.14	△113,933,879
	人件費	3,784,892,000	57.08	3,702,812,118	60.11	82,079,882
	教育研究経費	2,138,176,000	32.25	2,121,470,570	34.44	16,705,430
	経常経費	511,302,000	7.71	320,162,2	5.20	191,141,799
	借取不能額等	0	0.00	2,622,262	0.04	△2,622,262
	教育活動支出計	6,434,370,000	97.04	6,147,065,160	99.79	287,304,840
	教育活動収支差額	△426,536,000	—	△25,297,281	—	△401,238,719
	収入の部合計	754,560,000	11.14	772,974,043	11.13	△18,414,043
	その他の教育活動外収入	0	0.00	0	0.00	0
	教育活動外収入計	754,560,000	11.14	772,974,043	11.13	△18,414,043
	借入金等	0	0.00	0	0.00	0
その他の収入	0	0.00	0	0.00	0	
教育活動外支出計	0	0.00	0	0.00	0	
教育活動外収支差額	754,560,000	—	772,974,043	—	△18,414,043	
経常収支差額	328,024,000	—	747,676,762	—	△419,652,762	
資産売却差額	0	0.00	0	0.00	0	
人件費	10,000,000	0.15	50,553,615	0.73	△40,553,615	
その他の特別収入	10,000,000	0.15	50,553,615	0.73	△40,553,615	
資産処分差額	0	0.00	12,275,865	0.20	△12,275,865	
その他の特別支出	0	0.00	916,040	0.01	△916,040	
特別支出計	0	0.00	13,191,905	0.21	△13,191,905	
特別収支差額	10,000,000	—	37,361,710	—	△27,361,710	
[予備費]	196,048,000	2.96	—	—	196,048,000	
基本金組入前年度収支差額	141,976,000	—	785,038,472	—	△643,062,472	
基本金組入額合計	△1,889,528,000	—	△1,347,232,615	—	△542,295,385	
当年度収支差額	△1,547,552,000	—	△62,194,143	—	△985,357,857	
前年度繰越収支差額	196,945,000	—	96,945,357	—	99,999,643	
基本金取崩額	0	—	181,859,362	—	△181,859,362	
翌年度繰越収支差額	△1,350,607,000	—	△183,389,424	—	△1,167,217,576	

### ■前年度決算との差異の主な要因

基本金組入額(1億5,500万円増)	建物等の取得に伴う第1号基本金への組入れにより1億5,500万円の増加となりました。
--------------------	--

### ○貸借対照表

■貸借対照表(平成28年3月31日現在) (単位:円)

資産の部	科目	金額		
		本年度末	前年度末	増減
資産の部	固定資産	(58,784,761,536)	(58,534,413,365)	(250,348,171)
	有形固定資産	(11,709,660,064)	(11,222,019,655)	(487,640,409)
	土地	2,794,826,882	2,794,826,882	0
	建物	4,653,157,641	4,745,709,668	△92,552,027
	構築物	180,280,768	190,421,953	△10,141,185
	教育研究用機器備品	1,640,669,609	1,781,898,691	△141,229,082
	管理用機器備品	51,935,841	54,048,067	△2,112,226
	図書	1,671,852,889	1,650,610,600	21,242,289
	車両	7,230,434	4,503,794	2,726,640
	建設仮勘定	709,706,000	0	709,706,000
	特定資産	(46,412,338,850)	(46,808,048,850)	(△395,710,000)
	第2号基本金引当特定資産	10,822,008,850	10,222,008,850	600,000,000
	第3号基本金引当特定資産	23,537,970,000	23,502,540,000	35,430,000
	第4号基本金引当特定資産	420,000,000	420,000,000	0
	退職給付引当特定資産	8,000,000,000	8,000,000,000	0
退職給付引当特定資産	1,663,500,000	1,663,500,000	0	
施設設備充実引当特定資産	1,968,860,000	3,000,000,000	△1,031,140,000	
その他の固定資産	(662,762,622)	(504,344,860)	(158,417,762)	
電話加入権	1,705,991	1,705,991	0	
数金保証金	59,138,900	59,138,900	0	
教育研究用ソフトウェア	244,300,728	305,594,308	△61,293,580	
管理用ソフトウェア	20,552,400	23,976,000	△3,423,600	
有価証券	329,132,950	103,190,950	225,942,000	
長期前払金	7,931,653	10,738,711	△2,807,058	
流動資産	(1,981,823,836)	(1,593,187,294)	(388,636,542)	
現金預金	1,525,916,528	927,467,392	598,449,136	
未収入金	407,383,155	607,574,921	△200,191,766	
貯蔵品	4,501,486	2,833,912	1,667,574	
前払金	43,785,468	54,970,372	△11,184,904	
預り金	237,199	340,697	△103,498	
資産の部合計	60,766,585,372	60,127,600,659	638,984,713	
負債の部	固定負債	(1,374,950,935)	(1,381,912,610)	(△6,961,675)
	退職給付引当金	1,374,950,935	1,379,731,991	△4,781,056
	長期未払金	0	2,180,619	△2,180,619
	流動負債	(924,779,086)	(1,063,871,170)	(△139,092,084)
	未払金	333,500,971	471,061,281	△137,560,310
	前受金	432,117,700	433,763,550	△1,645,850
	預り金	159,160,415	59,046,339	111,076
	負債の部合計	2,299,730,021	2,445,783,780	△146,053,759
	純資産の部			
	科目	本年度末	前年度末	増減
	基本金	(58,650,244,775)	(57,484,871,522)	(1,165,373,253)
	第1号基本金	23,870,265,925	23,340,322,672	529,943,253
	第2号基本金	10,822,008,850	10,222,008,850	600,000,000
	第3号基本金	23,537,970,000	23,502,540,000	35,430,000
	第4号基本金	420,000,000	420,000,000	0
繰越収支差額	(△183,389,424)	(196,945,357)	(△130,334,781)	
翌年度繰越収支差額	△183,389,424	196,945,357	△380,334,781	
純資産の部合計	58,466,855,351	57,681,816,879	785,038,472	
負債及び純資産の部合計	60,766,585,372	60,127,600,659	638,984,713	

### ■前年度末との増減の主な要因

資産の部	
有形固定資産	福岡看護大学(仮称)校舎新築工事費などにより4億8,800万円の増加となりました。
特定資産	特定資産は福岡看護大学(仮称)の設置経費の支払に充当する施設設備充実引当特定資産を取り崩したことにより3億9,600万円の減少となりました。
流動資産	流動資産は定期預金等の短期運用資産として保有したことなどにより3億8,900万円の増加となりました。
負債の部	
流動負債	流動負債は退職金等の未払金の減などにより3,900万円の減少となりました。

### ■前年度末との増減の主な要因

純資産の部	
基本金	基本金は福岡看護大学(仮称)校舎新築工事費などを組入れたことにより5億6,000万円の増加となりました。
第2号基本金	第2号基本金は病院建設等資金の組入れ計画に基づき6億円を組入れたことにより6億円の増加となりました。
繰越収支差額	繰越収支差額は基本金に組入れたことにより3億8,000万円の減少となりました。

### ■前年度末との増減の主な要因

負債の部	
流動負債	流動負債は退職金等の未払金の減などにより3,900万円の減少となりました。

### ■前年度末との増減の主な要因

純資産の部	
第1号基本金	第1号基本金は福岡看護大学(仮称)校舎新築工事費などを組入れたことにより5億6,000万円の増加となりました。
第2号基本金	第2号基本金は病院建設等資金の組入れ計画に基づき6億円を組入れたことにより6億円の増加となりました。
繰越収支差額	繰越収支差額は基本金に組入れたことにより3億8,000万円の減少となりました。

### ○財産目録

■財産目録総括表(平成28年3月31日現在) (単位:円)

資産の部	金額	負債の部	金額
I. 基本財産	46,769,120,257	I. 固定負債	1,374,950,935
固定資産	46,769,120,257	退職給付引当金	1,374,950,935
(1)有形固定資産	11,681,293,388		
(2)特定資産	34,779,978,850		
(3)その他の固定資産			

1 Campus News

# 熊本地震被災地への歯科医療救護活動に参加

## 多職種連携で被災者の健康を支援

福岡歯科大学医科歯科総合病院  
病院長 池邊 哲郎

去る平成28年4月14日と16日に、2度にわたって震度7の地震が熊本・大分地方に発生し、本学同窓生を含む多くの方が被災されました。被災者に対して心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。もに一日も早い復興を祈念します。

この地震に対して、日本歯科医師会ならびに九州地区連合歯科医師会からの要請により、福岡歯科大

学の支援チームが2度にわたって南阿蘇村を訪れ支援活動を行いました。第一陣は、森田浩光 病院教授（総合歯科学）、加藤智崇 助教（高齢者歯科学）、常岡由美子 歯科衛生士、亀井寛子 歯科衛生士の4名

で、4月24日から5月1日まで活動し、第二陣は、都築 尊 准教授（有床義歯学）、山口真広 歯科医師（高齢者歯科学 大学院3年生）、堀

部晴美 短大教授（歯科衛生士）、久家雅美 歯科衛生士の4名で、5月15日から5月22日まで活動しました。森田病院教授と堀部教授は東日本大震災でも支援活動をした経験者です。

東日本大震災では震災後3ヵ月経つてやっと歯科チームが現地入りしましたが、今回は地震発生後1週間ほどの初期段階から介入を始



JRATと本学チームとのミーティング



塩崎厚生労働大臣に説明する加藤助教



歯科治療支援をおこなう都築准教授



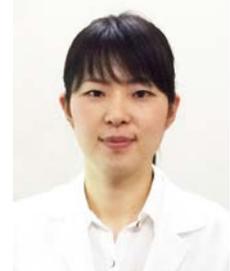
第二陣の本学チームと福岡県歯科医師会との集合写真

めました。JMAT（日本医師会 災害医療チーム）やJRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）と協力しながら、老健施設、障害者施設および居宅の要介護高齢者などいわゆる災害弱者の口腔管理、摂食嚥下のアセスメントや嚥下指導を行い、誤嚥性肺炎による震災関連死をゼロにすることを目標に活動しました。本学チームは余震が続く中で献身的に支援を行い、高い評価を受け、「災害時多職種医療連携」における歯科のプレゼンスを高めることができました。そして何よりも福岡歯科大学が被災者の健康に貢献できたことを誇りに思う次第です。

急な派遣にも関わらず協力していただいたメンバーと南阿蘇での活動を支援していただきました地元の本学同窓生の皆様に感謝申し上げます。

Campus News  
2 平成28年度日本学術振興会特別研究員に  
本学大学院生 橋本麻利江氏が採用

平成28年度日本学術振興会特別研究員の採用内定者が平成28年4月26日に通知され、本学大学院画像診断学分野第4学年 橋本麻利江氏(研究指導教員(主)湯浅賢治教授／(副)田中芳彦教授)が採用されることになりました。



特別研究員制度は、我が国トップクラスの優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度です。

橋本氏は、特別研究員として採用され、研究奨励金の支給を受けるとともに、文部科学省科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)へ応募することが可能となり、審査の結果こちらも採択されました。今年度の本制度の採択率は、DC2が21.8%と非常に狭き門の中、歯学分科で全国6名の内の1名に選ばれました。採用された内容は、次のとおりです。

- DC2(大学院博士課程在学者)
- 受入研究者
- 感染生物学分野教授 田中芳彦
- 採用期間
- 平成28年4月1日～平成30年3月31日の2年間
- 研究課題名
- 口腔アレルギーの病態解明を目指した新しい免疫系シグナル伝達分子の同定と機能解析

Campus News  
3 医科歯科総合病院  
「リハビリテーション科」を標榜

## 専門医・理学療法士が リハビリをサポート

福岡歯科大学では、「口腔医学」の理念に基づき口腔の健康を通して全身の健康を守る歯科医師を養成するため、歯科だけでなく、内科、外科をはじめとする一般医学の充実に取り組んできました。その一環として、平成28年5月25日からリハビリテーション科を標榜いたしました。同科では、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医・理学療法士が十分な診断・評価のもとに、患者の皆様の状態に合ったリハビリテーションプログラムを提供いたします。

地域に密着した医療を実践できるように精励していきますので、今後ともよろしくお願いたします。



リハビリをサポートする専門医・理学療法士

Campus News  
4 医科歯科総合病院に  
西鉄バス乗り入れ運行開始

## 病院玄関前ロータリーに 「歯科大病院」バス停新設

福岡歯科大学医科歯科総合病院玄関前への西鉄バスの乗り入れが、6月18日から開始されました。病院玄関前へのバスの乗り入れは、患者の皆様へのアンケートやご意見箱に寄せられるご意見のなかで数多くあげられていたもので、病院側と西日本鉄道株式会社協議を行った結果、6月のダイヤ改正から運行が開始されました。

病院玄関前ロータリーには、「歯科大病院」という名称でバス停が新設され、藤崎・天神・博多駅方面と病院を結ぶバスが、平日は1日あたり合計37便運行します。通院に大変便利になっておりますので、ぜひご利用ください。



5 平成28年度  
福岡歯科大学公開講座

## しつかりケアでトラブル 対策・アレルギー予防も

7月11日、福岡歯科大学本館9階講堂において、福岡歯科大学公開講座「心配だったら聞いてみよう 皮膚のトラブルとアレルギー」が開催され、約110名の方に参加いただきました。講座では、皮膚科学分野 古村南夫教授より皮膚科や歯科医院でよく見つかる様々なアレルギー疾患が解説され、発症のしくみや、どのような検査・治療が受けられるのかについて紹介されました。また、冠橋義歯学分野 佐藤

博信教授より、金属アレルギーを持つ患者さんへ向けて金属を使用せずに歯科治療をする医療技術を中心に講演が行われました。講演後には質疑応答の時間が設けられ、参加者は講師の回答に耳を傾けていました。



### 平成28年度福岡医療短期大学 公開講座

#### 「認知症」を考える Part3

□から始める介護予防  
…食べる幸せ、生きる喜びを支援する…

- 日時:10月2日(日) 13:00~16:30(受付開始12:00)
- 場所:福岡医療短期大学 307教室
- 定員:120名 ■受講料:無料

#### ○教育講演

「長寿の鍵は、□にあり!」 山本 龍生  
(神奈川歯科大学大学院歯学研究所 口腔科学講座社会歯科学分野 教授)

#### ○講演1

「転倒予防は、食にあり!」 中園 栄里  
(福岡医療短期大学 保健福祉学科 講師)

#### ○講演2

「寝たきり予防は、住にあり!」 松野 浩二  
(福岡市障がい者基幹相談支援センター 相談支援専門員  
福岡県理学療法士会 福岡支部担当理事)

#### ○総合討論「認知症予防」を考える

- 申込方法/氏名・勤務先・職種・自宅または勤務先の住所・FAX・TELをお書き添えの上、FAXにてお申込みください。
- 申込期間/8月1日~9月16日
- 申込および問い合わせ先/福岡医療短期大学 公開講座委員会  
FAX: 092-801-4473  
TEL: 092-801-0923(内線151)

### 平成28年度父兄後援会 支部懇談会日程

平成28年度の父兄後援会支部懇談会が下記日程のとおり開催されます。各支部の総会のほか、大学からの近況報告や父兄との個別面談、意見交換などが行われます。是非ご参加ください。詳細については各支部へお問い合わせください。

実施日	支部名	会場名
8月6日(土)	福岡中央	福岡ガーデンパレス
	福岡市	ソラリア西鉄ホテル
	北九州	リーガロイヤルホテル小倉
8月7日(日)	大分県	レンブラントホテル大分
	広島・山陰・岡山	リーガロイヤルホテル広島
	中部・東海・東日本・関東	名鉄グランドホテル
8月11日(木・祝)	鹿児島県	鹿児島東急REIホテル
	福岡県南部	ハynesホテル久留米
8月13日(土)	沖縄県	リーガロイヤルグラン沖縄
8月20日(土)	熊本県	ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
	佐賀県	マリトピア
	四国	リーガホテルゼスト高松
	近畿	大阪ガーデンパレス
8月21日(日)	長崎県	ホテルニュー長崎
	宮崎県	宮崎観光ホテル
	山口県	山口グランドホテル
	福岡県東部	のがみプレジデントホテル

### 第12回健康まるごと福岡学園

■日時:10月29日(土)・30日(日) ■場所:福岡歯科大学

福岡学園では、医療・保健・福祉のみではなく、より広い分野での地域貢献を果たすため、「健康まるごと福岡学園」を開催します。

(問合せ先)  
福岡歯科大学 企画課  
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1  
電話:092-801-0411(内線508)  
FAX:092-801-3678  
Email: kikaku@college.fdcnet.ac.jp

企画を多数ご用意して皆様のご来場をお待ちしております。

#### イベント

- 田の歯科祭
- 講演会
- からだの科学展
- 医科ミニ講座
- 歯科無料相談
- 介護無料相談、介護施設見学
- 短大企画





世界小児外科学会連合総会 授賞式



欧州小児外科学会総会にて

## 水田祥代理事長が世界小児外科学会連合「The Lifetime Achievement Awards」を受賞、欧州小児外科学会名誉会員の称号を受ける

5月23日、ヒルトン福岡シーホークにおいて、世界小児外科学会連合(WOFAPS)総会が開催され、本学園の水田祥代理事長に、小児外科医学の進歩・発展に貢献した個人へ贈られる「The Lifetime Achievement Awards」が授与されました。長年小児外科医学の臨床・研究に取り組み、数々の顕著な業績を挙げ、日本国内のみならず、小児外科医学の発展に寄与した功績が評価され、この度の受賞となりました。

また、6月18日にイタリア・ミラノで開催された欧州小児外科学会総会において、欧州小児外科学会(EUPSA)から水田理事長に、「EUPSA HONORARY MEMBER(名誉会員)」の称号が授与されました。小児腫瘍学や小児の肝疾患、新生児の手術などにおいて数々の顕著な業績を挙げ、小児外科医学の充実・発展に尽力した功績が認められ、女性で初めて、世界で10人目となる称号授与となりました。

### 教員紹介

### 《福岡歯科大学》

●耳鼻咽喉科学分野

昇任



教授  
山野 貴史

(抱負)嚥下・音声分野について造影検査などに基づいたリハビリテーションや手術治療を積極的に行っていきます。また、歯性上顎洞炎に対する鼻内視鏡手術の啓蒙も進めていきます。

(略歴)福岡大学医学部卒。福岡大学医学部耳鼻咽喉科入局、福岡大病院、九州がんセンター、福岡大学筑紫病院勤務。福岡歯科大学耳鼻咽喉科学分野講師、准教授を経て、平成28年7月1日同分野教授に昇任。博士(医学)。

●有床義歯学分野

昇任



准教授  
都築 尊

(抱負)臨床の中から研究テーマを発見し、研究を通してサイエンス・マインドをもった臨床家を育て、臨床家の育成を通して自ら臨床の研究を積むという正の循環を生み貫いていきます。

(略歴)福岡歯科大学歯学部卒。同大学院歯学研究所歯学専攻博士課程修了。同大学院冠橋義歯学分野助手、同大学有床義歯学分野講師を経て、平成28年5月1日、准教授に昇任。博士(歯学)。

●有床義歯学分野

昇任



講師  
吉田 兼義

(略歴)福岡歯科大学歯学部卒。同大学医科歯科総合病院にて臨床研修歯科医修了後、同大学院博士課程を修了。同大学有床義歯学分野助教を経て、平成28年5月1日、同分野講師に昇任。博士(歯学)。

●分子機能制御学分野

新任



講師  
内田 邦敏

(略歴)名古屋市立大学薬学部卒。同大学院薬学研究科修了。総合研究大学院大学生命科学研究科修了。生理学研究所細胞生理研究部門助教を経て、平成28年7月1日、福岡歯科大学分子機能制御学分野着任。博士(理学)。

●口腔医療センター

昇任



講師  
横上 智

(略歴)福岡歯科大学歯学部卒。同大学医科歯科総合病院にて臨床研修歯科医修了後、同大学口腔インプラント学分野医員、同大学口腔医療センター助教を経て、平成28年7月1日、同センター講師に昇任。



福岡歯科大学同窓会主催

## 第29回学術講演会

学術常務理事 葛西 秀夫（6期生）

平素より福岡歯科大学同窓会活動にご協力ご理解を賜り誠に有難うございます。

今年度の学術講演会は、平成28年3月6日、福岡県歯科医師会館大ホールにて「天然歯保存の可能性を探る―補綴の立場から―」をメインテーマに開催いたしました。今回の講演会では日常臨床における天然歯の保存の可能性と限界にこだわり、福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野教授 佐藤博信先生に「天然歯の咬合の可能性を探る」と題しての基調講演を、そして山口県下関市にて開業された福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野臨床准教授 大村祐進先生に「機能的・審美的長期安定性を考慮した咬合再構成」、愛知県名古屋市中で補綴臨床総合研究所を開設された中村健

太郎先生に「なぜ、人は咬合が不可欠なのか?」と題して、それぞれの立場から講演頂きました。器材展示業者を合わせ150名の参加となり、質疑応答も定刻を過ぎても行われ、盛會に終わり大変有意義な講演会となりました。



第29回学術講演会

今後とも学術委員会活動を通じて時代の変遷に適応し進化をしながら、母校と共に同窓会も成熟して、皆様にならなる充実した魅力ある同窓会づくりに学術委員一同貢献出来たら幸いです。今後とも同窓各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。

### 福岡歯科大学同窓会懇親会

〈日時〉  
平成28年10月22日(土) 18:30~

〈会場〉  
西鉄グランドホテル2F「プレジール」

事前会費	15,000円
当日会費	18,000円

\*会費はすべて2次会費を含みます

〈お問い合わせ(申込先)〉

福岡歯科大学同窓会福岡県地区  
専務理事 持山達郎

〒810-0001

福岡市中央区天神3丁目3番3号  
(持山歯科医院内)

TEL:092-712-3900

FAX:092-716-0389

E-mail:mochitatsu@coffee.ocn.ne.jp

〈申込振込締切〉

平成28年8月31日

(4月に同窓会より発送致しました)  
申込書をご使用下さい

同窓生からの手紙

福岡が熱い

福岡県西同窓会専務理事 中田 宏(13期生)

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、福岡県西同窓会は平成28年6月25日定時総会にて、中四良会長のもと新執行部がスタート致しました。今年は、福岡歯科大学主幹で平成28年10月21日(金)〜23日(日)に第23回日本歯科医学学会総会と平成28年10月22日(土)に第69回九州歯科医学学会が福岡県の担当で開催されます。また、併せて日本デンタルショーも併催されます。

福岡県西同窓会は同窓生の皆様をこの熱い福岡へ快くお迎え出来る様、22日の福岡歯科大学同窓会懇親会に向けて準備を進めているところです。当日は土曜日という事もあってイベントも多少ホテルの予約が大変困難な事が予想されます。西同窓会でも多少のホテルは確保しておりますが、遠方からのご来福の先生は早めにホテルの予約をお願い致します。是非たくさんの方のご出席頂き大会と総会を盛り上げたいと願っています。皆様のご来福を心からお待ちしております。

最後になりましたが、熊本を中心とした大地震にて被災されました先生には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



クリニックからこんにちは!



## 「木更津で福岡カラーを」

木更津きらら歯科 中谷 一空(31期生)

皆様こんにちは。31期卒の中谷一空です。今年の10月で開業して2年になります。ユニット6台、スタッフ20名で『絶えず医療の向上に努め、医療人としての誇りと責任を持つて、心に響く質の高い医療の提供』を目指しております。

日々、患者さんとのコミュニケーションを大切にし、スタッフ皆で真面目に楽しく診療を行っております。Drは福岡、長崎、熊本、沖縄、千葉出身、さらには福岡出身のDHもいるため、当院は千葉の木更津にあるのにも関わらず院内では九州弁が飛び交っており、患者さんも素敵な反応をしてくれます。

先日、恩師に会いに行きました。その際に多くの有難きお言葉をいただきましたが、その中で『俺は仙人になる。』という言葉に特に感銘を受けました。仙人というのはどこにいても誰でも訪れに来る。とても深いお言葉でした。確かにそれは患者さんであろうと、友人であろうと先輩であろうと。後輩であろうと誰であろうと。その通りだと思いました。そう話される表情からは、想像もで



きないほど毎日を生懸命に生きてきてなお、さらなる成長への貪欲さが満ち溢れていました。

もう限界だという言葉をよく耳にします。日頃より私は限界なんて自分自身で勝手に決めるものだ、もともと高みへと言いつつも聞かせていたつもりでしたがまだまだでした。この世に生を授かった以上は私も日々成長すべく、刺激し合える仲間と一生懸命に貪欲に生き、少しでも多くの人に影響を与えられる人になるよう努めたいと思います。

最後になりましたがこの度の地震により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、少しでも早く復興され、心穏やかに過ごすごとができますようお祈り致します。

卒業生  
NOW

## 「診療室から見える山」

野々山 信(25期生)

皆様、こんにちは。25期卒業の野々山と申します。平成15年に大学を卒業後、平成25年に北九州市八幡西区で開業しました。

開業してからは日々の診療で凝り固まった体をリフレッシュするために、山登りを始めました。何気なく本屋で手にした九州の山々を特集した雑誌がきっかけでした。初めての登山は、診療室の窓から毎日見ている皿倉山からスタート。山頂に登ると、そこから見える他の山が気になり情報収集。次は福智山など近郊の山々をピークハント。次は学生時代に見ていた山が気になり、飯盛山・宝満山・井原山へ。対象は広がり、県外の由布岳・くじゅう連山へ。山仲間が増えると情報も増え、一つの山でも違うルートから登る楽しみも覚えました。

皆様の周りにもきっと山は見えるはずです。周囲の動植物を観察しながら、マイペースで歩いてみましょう。頂上で食べるおにぎりとコーヒは格別です。もちろん、無理して頂上まで登らなくてもよいのです。各人が決めた目標をクリアできれば心地よい疲労感と達成感を楽しめるのではないかと思います。今度の週末はお近くの山に登ってみましょう。下山してから見上げる山は、いつも見ていたそれとはきっと違って見えるはずです。

最後に、平成28年熊本地震で亡くなられた方々へ哀悼の意を表すると共に、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。





## 学生からのメッセージ

### 地震が与えたもの

松野 浩明 (福岡歯科大学 第2学年)

4月14日21時26分、突然携帯電話から聞いたことのない音が鳴り響きました。何が起きたかもわからず、とりあえず画面を見てみると、小さい頃から見なれた「熊本」という文字と今まで見たことのない「震度7」という文字を同時に見て理解が追いつかないでいる間に揺れは福岡まで来ました。



私の実家は熊本市内のマンションで、震源地からそう遠くないところにありました。両親とも連絡が取れるようになり家の写真を送ってもらうと、家具はすべて倒れ、食器は割れ、子ども時代に住んでいた家とは別物になっていました。

二週間後、実家に手伝いに帰り、実際に被害を見て改めて地震の恐ろしさを感じました。しかし、良いこともありました。家を片付けるにつれ家族の絆も深まり、さらに仲の良い家族になりました。以前は安心して大学に通えるという幸せを当然のように考えていました。今はこの環境を与えてくれた両親に感謝しています。

最後に、今回の地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、熊本県、大分県の日も早い復興を願っております。

## 保護者からのメッセージ

### 一日二日の努力

村上 司 (父兄後援会理事)

私は北九州小倉で開業して三十年、地元のお客さんの声を大切にしながら歯科医療に取り組んでまいりました。本年度から父兄後援会の理事を務めさせて頂いております。後援会、大学関係の皆様と会の為に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



さて、先日、福岡歯科大の国家試験の合格者数を聞き、近年の合格が難しいということを実感しました。現在の制度の難しい状況の中、基礎勉強を大切にしながら、いかにしたら国家試験に合格できるのか？先生方も頭を悩まされていることと存じます。父兄後援会も全面的にバックアップしていきますので、学生の皆さんは一日二日の努力が明日へつながる、そして国家試験合格へつながると信じて勉強に励んで頂きたいと思えます。只、国家試験合格がゴールではありません、その日から歯科医師としてのスタートです。我々と共に歯科医療に貢献してくれることを望みます。

最後になりましたが、この度、熊本大分の大震災で被災されました皆様には、謹んでお見舞い申し上げますと共に、早く平常の生活が出来ますよう心よりお祈り申し上げます。

New Sophia コラム

### 「無用の用」

都市伝説か事実か知りませんが、かつて大学の定期試験でカレーのレシピを書いて単位がもらえたというエピソードがあります。有名な話です。ご存知でしょうか。この話に対して「古き良き時代」と懐かしむ向きもございしますが、皆さまはどのように感じられますでしょうか。本学の新入生研修会の際、わたしは1年生に「他者に敬意を払える大人になってください」と話します。同輩、教師、将来的には患者さん、そして知そのものへ。大学は知の共同体であり大学生になるということはその共同体の一員になることだから、こののですが、そんなに高尚な話ではなくて、ひょう窃や無断転用などは厳禁だ、という程度の意味です。では、教員ならどうでしょう？わたしが思うに学問への敬意でありましょう。畏敬と云っても構いません。諭えるなら、授業をし試験をし単位を認定する場合に教員はその学問の代理人を勤めているだけだ、くらいの気持ちが必要でしょう。単位の与奪を個人的な好みで決めるといっつのは以ての外だと思っております。認証評価や学生授業アンケートも大切ですが、でもなにより重要なのは学問への敬意だなと考えるわたしはあまりに書きすぎていますでしょうか？

(永嶋哲也)

充実した日々、いろいろ。学園の様々な出来事をピックアップしてご紹介!

## EVENTS RECORD

【イベントレコード】

### 2016年5月

- 15日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 20日 第19回学園体育祭
- 25日 ガーデン研修会

### 2016年6月

- 4・19日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 5日 福岡市民の健康を歯と口から守る集い
- 9日 FD講演会(鹿児島大学 田口則宏教授)
- 12日 福岡歯科大学 同窓生ご子息・ご息女対象オープンキャンパス
- 12日 サンシャインシティ運動会
- 28日 福岡歯科大学 第6学年激励会
- 29日 福岡医療短期大学 歯科衛生学科激励会
- 30日 福岡医療短期大学 保健福祉学科 実習決意式

### 2016年7月

- 6日 大学院特別講義  
(テキサス大学オースティン校 アーレン・ジョンソン教授)
- 8日 大学院特別講義  
(南カリフォルニア大学 関 成弘氏)
- 9・22日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 11日 平成28年度福岡歯科大学公開講座

## EVENTS CALENDER

【イベントカレンダー(今後の予定)】

### 2016年7月

- 23日 福岡看護大学(仮称)【設置認可申請中】オープンキャンパス
- 27日 学園記念日記念式典
- 30日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 31日 福岡歯科大学 第1回オープンキャンパス  
サンシャインブラザ夏祭り

### 2016年8月

- 5・19日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 6日 福岡歯科大学 第2回オープンキャンパス
- 7日 福岡看護大学(仮称)【設置認可申請中】オープンキャンパス  
サンシャインシティ納涼祭

### 2016年9月

- 10・24日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 11日 福岡看護大学(仮称)【設置認可申請中】オープンキャンパス

### 2016年10月

- 2日 平成28年度福岡医療短期大学公開講座
- 13日 献体者慰霊祭・実験動物慰霊祭
- 15日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 20日 大学院特別講義  
(マンダレー歯科大学 キン・サンダー・トゥン講師)
- 21~23日 第23回日本歯科医学会総会
- 29・30日 健康まるごと福岡学園



第500回記念理事会が行われました。



福岡医療短期大学 保健福祉学科実習決意式



サンシャインシティ運動会

## 福岡市民の健康を歯と口から守る集い

6月5日、福岡県歯科医師会館において「第41回福岡市民の健康を歯と口から守る集い」(福岡市歯科医師会等と共催)が開催されました。福岡歯科大学医科歯科総合病院的スタッフが、口腔外科、小児歯科、禁煙・口臭予防等の相談コーナーを担当し、多くの方にご利用いただきました。



## 編集後記

熊本地震により被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

本号では、地震被災地への歯科医療救護活動、第23回日本歯科医学会総会情報、学生訪問団の国際交流、水田理事長の国際学会受賞など、お伝えすべき大きな話題がいくつもありました。読者の皆様に学園の活気・熱気をお伝えすべく、編集部ではぎりぎりまで精力的に作業を続けました。いよいよ、10月21日~23日には第23回日本歯科医学会総会が開催されます。また、設置認可申請中の福岡看護大学(仮称)の校舎建設なども進んでいます。次号以降も、編集部一同がんばっていきたいと思います。

# Information

お知らせ

## 平成29年度 入学試験日程

### 福岡歯科大学

口腔歯学部							
区分	AO入試Ⅰ期	推薦入試指定校推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試Ⅰ期	一般入試B日程	センター試験利用入試Ⅱ期	AO入試Ⅱ期
募集定員	約13名	約15名	約47名	約5名	約11名	約2名	約2名
試験日	H28.10.2(日)	H28.11.19(土)	H29.2.3(金)		H29.3.4(土)		H29.3.21(火)
願書 受付期間	H28.8.29(月) ～9.28(水)	H28.11.1(火) ～11.16(水)	H29.1.4(水)～1.31(火)		H29.2.1(水)～3.2(木)		H29.3.1(水) ～3.16(木)
合格発表日	H28.10.4(火)	H28.11.22(火)	H29.2.8(水)午後5時		H29.3.7(火)午後5時		H29.3.22(水)
試験会場	福岡歯科大学試験場		福岡歯科大学試験場・東京試験場		福岡歯科大学試験場		
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp">http://www.fdcnet.ac.jp</a> ●E-mail <a href="mailto:gakumu@college.fdcnet.ac.jp">gakumu@college.fdcnet.ac.jp</a> ●携帯電話及びスマートフォン用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col/deviceselect.html">http://www.fdcnet.ac.jp/col/deviceselect.html</a>						 <p>◀携帯電話からのアクセスはこちらから!</p>

### 福岡医療短期大学

学科区分	指定校推薦入学試験	公募推薦入学試験(I)	公募推薦入学試験(II)	一般入学試験(社会人を含む)				専攻科・口腔保健衛生学専攻		
				A日程	B日程	C日程	D日程	一次募集	二次募集	三次募集
歯科衛生学科	約25名	約3名	約1名	約10名	約3名	約2名	約1名			
保健福祉学科	約10名	約2名	約2名	約3名	約1名	約1名	約1名	約10名	約5名	約5名
試験日	H28.11.12(土)	H28.12.10(土)	H29.2.1(水)	H29.2.17(金)	H29.3.3(金)	H29.3.22(水)	H28.12.10(土)	H29.2.1(水)	H29.3.22(水)	
願書 受付期間	H28.11.1(火) ～11.10(木)	H28.11.29(火) ～12.8(木)	H29.1.4(水) ～1.30(月)	H29.1.27(金) ～2.15(水)	H29.2.16(木) ～3.1(水)	H29.3.6(月) ～3.17(金)	H28.11.29(火) ～12.8(木)	H29.1.4(水) ～1.30(月)	H29.3.6(月) ～3.17(金)	
合格発表日	H28.11.17(木)	H28.12.15(木)	H29.2.8(水)	H29.2.23(木)	H29.3.9(木)	H29.3.24(金)	H28.12.15(木)	H29.2.8(水)	H29.3.24(金)	
試験会場	福岡医療短期大学						福岡医療短期大学			

AO入試(社会人含む) 歯科衛生学科(約35名) / 保健福祉学科(約20名)											
試験日	H28.8.5(金)	H28.8.19(金)	H28.9.10(土)	H28.9.24(土)	H28.10.15(土)	H28.11.12(土)	H28.12.10(土)	H29.1.14(土)	H29.2.17(金)	H29.3.3(金)	H29.3.22(水)
願書 受付期間	H28.8.1(月) ～8.3(水)	H28.8.8(月) ～8.17(水)	H28.9.1(木) ～9.8(木)	H28.9.12(月) ～9.21(水)	H28.10.3(月) ～10.13(木)	H28.11.1(火) ～11.10(木)	H28.11.29(火) ～12.8(木)	H28.12.15(木) ～29.1.12(木)	H29.1.27(金) ～2.15(水)	H29.2.16(木) ～3.1(水)	H29.3.6(月) ～3.17(金)
合格発表日	H28.10.3(月)			H28.10.20(木)	H28.11.17(木)	H28.12.15(木)	H29.1.19(木)	H29.2.23(木)	H29.3.9(木)	H29.3.24(金)	
試験会場	福岡医療短期大学										
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/</a> ●E-mail <a href="mailto:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp">gakumuj@college.fdcnet.ac.jp</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/sp/jcol/">http://www.fdcnet.ac.jp/sp/jcol/</a>										 <p>◀携帯電話からのアクセスはこちらから!</p>

※社会人AO入学試験は、上記日程で行います。注)オープンキャンパス・AO入学試験については、希望により随時開催することがあります。

## オープンキャンパス開催のお知らせ

詳しくは  
ホームページで  
公開中!

### 福岡歯科大学

- 第1回  
7月31日(日)10:00～15:00  
〈内容〉模擬講義、模擬実習、施設見学、在校生との座談会・昼食会など
- 第2回  
8月6日(土)11:00～15:00  
〈内容〉模擬実習、小論文・面接概要説明、平成29年度入試説明、施設見学(受験生対象)



施設見学

### 福岡医療短期大学

- 〈実施日〉  
7月30日(土)  
8月5日(金)・19日(金)  
9月10日(土)・24日(土)  
10月15日(土)  
11月19日(土)  
12月10日(土)
- 〈内容〉  
●施設見学  
●カリキュラム説明  
●在校生の声紹介  
●入学試験説明



歯科衛生学科



保健福祉学科

### 福岡看護大学(仮称)【設置認可申請中】

- 『2017年4月 開学予定!』  
看護職に興味のある方、看護学部への進学を考えている方は、ぜひお越しください!
- 7月23日(土) ●8月7日(日) ●9月11日(日)  
3日程とも13:00～16:00  
〈開催場所〉福岡歯科大学本館
- 〈内容〉  
模擬講義、看護体験、大学生活に関する相談会



新校舎完成イメージ